

平成30年度 全国高等学校選抜自転車競技大会報告

- 日程 (1) 開会式 平成31年3月21日(木) 10時00分～
(2) 競技 平成31年3月21日(木)～24日(日) 4日間
(3) 閉会式 平成31年3月24日(日)

会場 〈トラック・レース〉 福岡県 小倉競輪場 (メディアドーム周長 400m)
〈ロード・レース〉 熊本県 五木村 特設ロードコース(6.9km×4周+10.4km×5周 = 79.6km)

トラック3名、ロード2名の参加で大会にのぞみました。20日に会場に到着し14時からのトラック公式練習走行を行いました。



21日 スプリント予選 井上 (2年生) 船橋 (1年生)

船橋の予選タイム 12秒240 11秒台を狙って力走したが力及ばず予選落ち。(42位)

井上の予選タイム 11秒665 自己ベストタイムを更新するも、予選通過(12位上がり)のタイムが11秒340と近年まれにみる好タイムのため予選落ち。(24位)

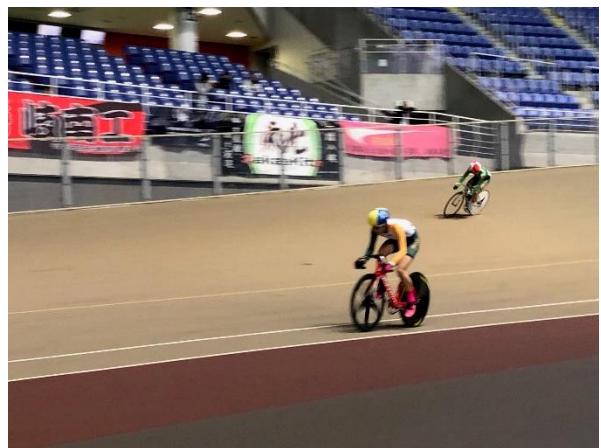
21日 ポイントレース予選 (12km) 大新 (2年生)

予選3組に出走 大変速い展開でレースが進行する中、なかなか自分から仕掛けることができずに、5回のポイント周回が終了。残るはゴールポイントだけとなりゴール勝負にかけるも位置取り悪く10位でフィニッシュ 中間ポイントもなく最終14位で予選落ち。上位8名が決勝へ進出した。

21日 スクラッチ予選 (6km) 松下 (1年生)

予選2組に出走 レース序盤から好位置をキープして予選通過を狙う。写真のように一時は積極的に集団からの逃げを試みる場面もあったが、残り2周となったところで集団の動きが激しくなり、松下は後方に追いやられる展開になってしまった。

最終ゴールスプリントでは外からのまくりにかけるが力及ばず18位でフィニッシュ。上位5名が決勝へ進出した。



24日（競技最終日） 個人ロードレース 伊藤（2年生）・大新（2年生）

11時40分 少し肌寒い気温ながら好天に恵まれてスタート。熊本県五木村の「道の駅子守唄の里五木」を発着点とする特設ロードコースは、6.9kmの周回コースはアップダウンが少ない高速コース、10.4kmの周回コースはコーナーが多く勾配12%の登りが含まれるテクニカルコースである。このコースを6.9km×4周+10.4km×5周=79.6kmを走り勝敗を決しました。

1週目から平均時速42kmを超える高速バトルとなり156名が出走したが1週目から集団から遅れる選手が続出する、激しいレースとなった。

大新は高速コースを得意とする選手であるので、難なく1週目から先頭集団の前方に位置し、登坂を得意とする伊藤も積極的に先頭集団に入り高速走行に耐えている。高速コースを4周回り10.4kmのテクニカルコースに入るとさらに集団がばらけ、先頭集団は35名程度になり、遅れて第2・第3集団が形成された。大新と伊藤はここでも先頭集団でフィニッシュラインを通過し入賞を期待させた。

しかし、テクニカルコースに入って3周回で35名の先頭集団がばらけ、大新は、先頭から遅れた選手で第2集団を形成し先頭集団を40秒差で追う展開に。伊藤は、かろうじて20名程度の先頭集団に踏みとどまることができている様子であった。

いよいよ最終回に入るところで残念ながら伊藤が先頭集団より遅れ一人で走る展開となってしまった。最終回は先頭集団から2名の選手が飛び出し10名程度の集団が逃げる2名を追い、バラバラになった選手団がそれに続く展開となった。

フィニッシュは逃げ切った2名が1・2位となり第2集団のゴールスプリントで8位までの入賞者が決まった。伊藤は、先頭から3分30秒遅れの24位、大新は第4集団のゴールスプリントを征するも伊藤から40秒遅れの25位であった。完走者は73名（先頭より9分遅れ）



←先頭が伊藤

先頭集団を
追っている

スタート前→



←高速で走行する先頭